

【北海道】留萌川重要水防箇所合同巡視を行いました

- 留萌市、北海道及び国等からなる「留萌川減災対策協議会」で検討された減災に関する取り組み方針に基づき、留萌川の重要水防箇所について、留萌建設管理部、留萌市及び留萌消防組合との合同巡視を行いました。
- 重要水防箇所の合同巡視は、関係機関との密接な連携を図るために行う取組の一つで、洪水時に迅速かつ的確な水防活動を行い、流域住民の安全を確保できるよう、出水期前や洪水経過後に合同で実施しています。
- 参加された方から、「災害はいつ起こるか分からない。普段から情報を共有することは重要。洪水時に特に注意を要する箇所を確認できたので今後の巡視等に活用する。」との感想がありました。

平成30年度留萌川重要水防箇所合同巡視 概要

目的：関係機関との密接な連携を図り、洪水時に迅速かつ的確な水防活動を行うため、流域住民の安全を確保できるよう合同で実施する。

実施日：平成30年6月29日（金）

実施場所：留萌川

（東雲排水機場、大和田遊水地ほか）

主催：留萌開発建設部

参加機関：留萌建設管理部、留萌市、留萌消防組合

参加人数：16名

実施内容：①危険箇所について位置等の確認を行う。②水防資材について、備蓄量・保管場所の確認を行う。③ダム、遊水地、排水機場等の重要な河川管理施設の構造と仕組みを理解する。④関係防災機関同士のコミュニケーションを図る。



平成30年度留萌川重要水防箇所合同巡視 実施状況



東雲排水機場の構造等について理解を深める



水防備蓄資材の確認



堤防裏法尻補強箇所の確認



留萌川KP11.6右岸 危険箇所の確認